



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)横山 裕司 TEL 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	55,330	8.1	2,511	△19.6	2,779	△19.7	1,597	△25.7
25年3月期第1四半期	51,184	23.1	3,122	32.9	3,460	30.9	2,149	31.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期1,655百万円(△22.3%) 25年3月期第1四半期 2,130百万円(77.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	38.99	38.69
25年3月期第1四半期	52.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	146,719	39,995	27.0
25年3月期	144,389	42,547	29.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 39,615百万円 25年3月期 42,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	103,000	△4.5	4,000	△40.8	5,150	△29.3	3,000	△31.9	73.93
通期	242,500	8.1	13,500	7.6	14,500	6.7	8,600	0.1	213.23

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	41,283,400株	25年3月期	41,283,400株
26年3月期1Q	1,235,515株	25年3月期	2,800株
26年3月期1Q	40,972,421株	25年3月期1Q	41,256,700株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日銀による金融緩和や安倍政権による経済政策等を背景に円安、株高が進行し、雇用情勢も改善する等、回復基調が継続いたしました。

当社グループの属する医療業界におきましては、販売価格交渉における価格下げ圧力は依然として厳しい状況が続いておりますが、医療機関の収益には改善の兆しが現れ始めております。また、iPS細胞を使った臨床研究が一部了承される等、日本発の再生医療に新たな弾みがつくとともに、新生MEJ（メディカルエクセレンスジャパン）が4月に発足し、日本医療の海外展開が本格化しようとしております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、SPD施設の新規受託分の稼働が軌道に乗り、調剤薬局の新規店舗の立ち上げが順調であったこと、並びに昨年12月にM&Aを実施した調剤薬局の業績が加わったこと等がプラス要因となり売上高は増加しましたが、プロジェクト案件については売上計上が前年度に比べて下半期に集中する見込みであり、当第1四半期連結累計期間における計上案件が少なかったこと、昨年開設した介護系施設の立ち上げ費用が増加したこと、既存施設における入居稼働率の改善が進まなかったこと等により、営業利益が減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は55,330百万円（前年同四半期連結累計期間比8.1%増）、営業利益は2,511百万円（前年同四半期連結累計期間比19.6%減）、経常利益は2,779百万円（前年同四半期連結累計期間比19.7%減）、四半期純利益は1,597百万円（前年同四半期連結累計期間比25.7%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。また、当第1四半期連結会計期間より、従来、「トータルパックシステム事業」としていた報告セグメントは、「トータルパックプロデュース事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、新規プロジェクト案件の受注が拡大する一方、プロジェクト案件の売上計上が前年同期に比べ少なかったこと、メーカー系において新規商品に係る開発費を計上したこと等により減収減益となりました。

この結果、売上高は17,303百万円（前年同四半期連結累計期間比3.4%減）、セグメント利益（営業利益）は1,738百万円（前年同四半期連結累計期間比20.8%減）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前年度においてSPDの新規受託件数が増えたことから、売上高は増加いたしました。新規受託施設に係る人員を確保するため等の経費が増加いたしました。

この結果、売上高は27,866百万円（前年同四半期連結累計期間比13.1%増）、セグメント利益（営業利益）は389百万円（前年同四半期連結累計期間比2.6%減）となりました。

③ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年開設した介護系施設の立ち上げ費用を計上したこと及び既存施設における入居稼働率の改善が進まなかったこと等により、営業利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は4,643百万円（前年同四半期連結累計期間比0.5%増）、セグメント利益（営業利益）は86百万円（前年同四半期連結累計期間比68.4%減）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、既存店舗が順調に推移するとともに、昨年12月に実施した(株)医療サービス研究所のM&Aにより店舗数が増加したこと、新規出店の立ち上がりが順調であったこと等から堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は5,318百万円（前年同四半期連結累計期間比39.9%増）、セグメント利益（営業利益）は399百万円（前年同四半期連結累計期間比20.8%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、理化学機器の販売は概ね計画通りに推移いたしました。動物病院の業績が前年同期に比べ弱含みとなりました。

この結果、売上高は200百万円（前年同四半期連結累計期間比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は30百万円（前年同四半期連結累計期間比2.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は146,719百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,329百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が7,006百万円減少した一方、現金及び預金が8,269百万円、未収還付法人税等が954百万円、商品及び製品が218百万円増加したこと等によるものであります。

負債は106,724百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,882百万円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等が2,176百万円減少した一方、短期借入金が5,479百万円、預り金が1,406百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は39,995百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,552百万円減少いたしました。その主な要因は、四半期純利益により利益剰余金が1,597百万円増加した一方、自己株式が2,348百万円増加し、配当金の支払により利益剰余金が1,857百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は27.0%（前連結会計年度末比2.2ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成25年5月7日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,850	27,120
受取手形及び売掛金	54,113	47,107
有価証券	82	33
商品及び製品	7,649	7,868
仕掛品	2,031	1,784
原材料及び貯蔵品	705	761
その他	8,217	9,219
貸倒引当金	△99	△104
流動資産合計	91,551	93,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,962	8,927
土地	8,230	8,230
貸与資産(純額)	44	45
賃貸不動産(純額)	8,709	8,639
その他(純額)	1,892	2,034
有形固定資産合計	27,839	27,877
無形固定資産		
のれん	10,622	10,394
その他	592	634
無形固定資産合計	11,214	11,029
投資その他の資産		
長期貸付金	6,277	6,334
その他	9,485	9,668
貸倒引当金	△1,979	△1,981
投資その他の資産合計	13,783	14,021
固定資産合計	52,837	52,928
資産合計	144,389	146,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,493	53,764
短期借入金	3,281	8,761
未払法人税等	3,176	999
賞与引当金	1,481	1,849
その他	11,972	12,785
流動負債合計	73,405	78,160
固定負債		
社債	4,034	3,944
長期借入金	20,063	20,323
退職給付引当金	2,006	1,988
資産除去債務	207	209
その他	2,125	2,097
固定負債合計	28,436	28,563
負債合計	101,842	106,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,691	5,691
資本剰余金	10,061	10,061
利益剰余金	25,795	25,535
自己株式	△1	△2,349
株主資本合計	41,547	38,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	604
為替換算調整勘定	63	71
その他の包括利益累計額合計	630	675
少数株主持分	369	379
純資産合計	42,547	39,995
負債純資産合計	144,389	146,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	51,184	55,330
売上原価	43,701	48,075
売上総利益	7,483	7,255
販売費及び一般管理費	4,361	4,744
営業利益	3,122	2,511
営業外収益		
受取利息	84	90
受取配当金	33	29
負ののれん償却額	164	164
持分法による投資利益	26	12
その他	128	69
営業外収益合計	438	368
営業外費用		
支払利息	95	84
その他	5	15
営業外費用合計	100	99
経常利益	3,460	2,779
特別利益		
固定資産売却益	0	1
負ののれん発生益	1	—
特別利益合計	1	1
特別損失		
投資有価証券売却損	5	—
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	9	0
事業構造改善費用	90	—
自己株式取得費用	—	51
特別損失合計	105	52
税金等調整前四半期純利益	3,356	2,728
法人税、住民税及び事業税	1,088	1,099
法人税等調整額	85	20
法人税等合計	1,173	1,120
少数株主損益調整前四半期純利益	2,182	1,607
少数株主利益	33	10
四半期純利益	2,149	1,597

四半期連結包括利益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,182	1,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	37
為替換算調整勘定	△23	9
その他の包括利益合計	△52	47
四半期包括利益	2,130	1,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,101	1,642
少数株主に係る四半期包括利益	28	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成24年5月14日を効力発生日として当社の連結子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社（以下「GHS」という。）及び株式会社セントラルユニ（以下「C&U」という。）との間で、当社を吸収分割承継会社、GHS及びC&Uを吸収分割会社とする会社分割をいたしました。当該会社分割に反対する株主より、会社法第797条第1項に基づく当社株式の買取請求がなされたことにより、当第1四半期連結累計期間において当社株式1,232,700株の買取を行い、自己株式が2,348百万円増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表における自己株式は2,349百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,911	24,642	4,622	3,801	50,978	206	51,184	—	51,184
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	314	87	1	—	403	2	405	△405	—
計	18,226	24,730	4,623	3,801	51,381	208	51,590	△405	51,184
セグメント利益	2,194	400	272	331	3,198	31	3,229	△107	3,122

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△107百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,303	27,866	4,643	5,318	55,130	200	55,330	—	55,330
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	197	117	1	—	317	2	319	△319	—
計	17,501	27,983	4,644	5,318	55,447	202	55,650	△319	55,330
セグメント利益	1,738	389	86	399	2,614	30	2,644	△133	2,511

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△133百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△155百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当第1四半期連結会計期間より、従来、「トータルパックシステム事業」としていた報告セグメントは、「トータルパックプロデュース事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第1四半期連結累計期間につきましても、当第1四半期連結累計期間と同様に「トータルパックプロデュース事業」と記載しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。